

第2学年	数学 科	使用教材	教科書（「新しい数学2」東京書籍） 問題集（「基礎からの問題集」東京書籍）
------	------	------	--

<学習の目標>

- ・文字を用いた式、連立2元1次方程式、1次関数、平行線の性質、三角形の角についての性質、三角形の合同条件、三角形と四角形の性質、確率などについての基礎的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理をしたりする技能を身に付けるようにする。
- ・数の性質や計算について考え文字を用いて数量の関係や法則を考える力、図形の性質や計量について論理的に考え表現する力、関数関係の特徴を表・式・グラフに関連付けて考える力を養う。
- ・数学のよさを実感し、生活に活かそうとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

授業のポイント	・積極的に発表し、先生や友だちの話をよく聞く。 ・自分の考えや解き方を友だちと交流する。 ・わからないときは先生に質問する。
家庭学習について	・習った問題をその日のうちに問題集で練習する。 ・復習に重点をおき、できるだけ毎日学習する。 ・問題集や練習プリントを使って、計算問題は繰り返し練習する。
テストについて	・定期テスト、実力テスト、小テスト

評価の観点	判断基準について
数学に関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。	授業中の様子・提出物
数量・図形などの関係を的確にとらえ、論理的に考察できる。	定期テスト・小テスト
数量・図形などを数学的に表現し処理する技能を身につけている。	定期テスト・小テスト
基礎的な概念・原理・法則を理解し、用語・記号などを使用できる。	定期テスト・小テスト

<2学期>

月	学習内容	付けさせたい力	課題
9	第2章 連立方程式 2) 連立方程式の利用	・数量の間の関係を連立方程式で表すことができる。 ・連立方程式の文章題を解くときの手順を理解し、連立方程式を利用して身近な問題を解くことができる。	教科書 プリント 問題集
10	第3章 1次関数	・与えられた条件から1次関数を求めることができる。 ・具体的な事象を1次関数とみなして、未知の状況を予測したり、問題解決したりできる。 ・$ax+by+c=0$の形の方程式のグラフをかくことができる。 ・具体的な事象を1次関数とみなし、そのグラフを利用して未知の状況を予測したり、判断したりすることができる。 ・連立方程式の解を、グラフをかいて求めることができる。 ・具体的な事象を1次関数で表したり、グラフを利用して問題を解いたりすることができる。	
11	第4章 平行と合同	・多角形を三角形に分けて考え、多角形の内角や外角の性質を利用することができる。 ・対頂角、同位角、錯角、平行線の性質を理解し、利用することができる。	
12	第5章 図形の性質	・図形の合同の意味を理解し、対応する頂点や辺、角を指摘するし、合同な図形を記号$\equiv$を使って表すことができる。 ・2つの三角形の合同を、三角形の合同条件を用いて判断できる。	

- ・途中式をしっかりと書き、思考の過程を表現する。
- ・既習事項を使って説明する機会を多くもうけ、意見を交流し思考力を深める。
- ・振り返りシートを活用し、主体的に学ぶ力を身につける。